

科目名	情報リテラシー入門 Computer Literacy for Beginners		担当教員 (研究室番号)	川合 真子 (非常勤)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	1年次 前期	科目 区分	教養・基礎科目		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
												オープンクラス
科目 目的	本講義では、医療職に求められる情報活用能力の基礎を習得することを目的とする。コンピュータの基本操作や主要なアプリケーション（Officeソフト）の活用、Webページ作成の基礎を学ぶとともに、急速に進展するAI技術の特性とリスク、倫理的課題について理解を深める。また、医療情報システム（HIS）や電子カルテの仕組み、情報セキュリティの重要性を学び、医療現場において情報を適切かつ安全に扱うための姿勢を養う。											
ディプロマ ポリシー (DP)	主要なDP	E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。（思考・判断）										
	関連する DP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。（知識・理解） C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。（技能・表現）										
到達 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本構成とOSの役割を説明できる。 ・看護レポートやデータ集計、プレゼンテーション資料作成に必要なOfficeソフトの基本操作ができる。 ・HTMLによる情報の構造化を説明でき、シンプルなWebページを作成できる。 ・医療情報システムや地域連携の仕組み、情報共有の重要性を説明できる。 ・生成AI等の特性、倫理的課題、法的責任を説明でき、情報の正誤を判断できる。 ・情報セキュリティ対策の重要性を説明でき、適切なパスワード管理やメール運用ができる。 											
成績評価方法 (基準)	<p>定期試験は実施せず、以下の項目から総合的に評価する。</p> <p>①演習課題（70%）： 講義時間内に実施・提出する実技成果物（Word、Excel、PowerPoint、HTMLの計4回）により評価する。グループ内での相互支援（教え合い）や参画状況を評価に加味する。ただし、成果物は各自が自力で作成するものとし、ファイルの複製や内容の酷似が認められた場合は、評価の対象外とする。</p> <p>②確認小テスト（30%）： 各セクションの節目に実施する知識確認テスト（計3回）</p>											
再試験の有無と 基準等	有：不合格者全員を再試験受験資格者とする。再試験はレポート課題のみとする。											
教科書	必要に応じて、講義資料を配布する。											
参考書等	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの看護のための情報リテラシーとICT活用入門 / 相撲 佐希子（編著） / メヂカルフレンド社 ・エッセンシャル看護情報学 2026年版 / 太田 勝正、前田 樹海（編著） / 医歯薬出版 ・[改訂新版] はじめてのAIリテラシー / 岡嶋 裕史、吉田 雅裕 / 技術評論社 											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と 学生への期待	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルチェックに基づくグループ学習を導入し、演習中の相互支援を推奨する。 ・学習の節目に復習用の小テストを実施することで、主体的な復習と知識定着を促す。 ・周囲と協力しながら主体的にITスキルを習得し、課題を解決しようとする前向きな姿勢を期待する。 											
備考	2回目以降の座席は指定する。各自のPC（Officeインストール済みのもの）を持参すること。											
回	学習項目		学習内容				主担当 教員	授業 方法				
1回	情報リテラシー入門とスキルチェック		講義ガイダンスを行い、グループ学習の意義を説明する。各自のPC利用環境の点検とOfficeソフトの習熟度に関するスキルチェックおよびグループ分けを行う。				川合	演習				
2回	インターネットサービスと情報セキュリティ・情報倫理		メールや SNS など各種インターネットサービスの仕組み、医療従事者によるサービス利用時のリスクと適切なセキュリティ対策を学ぶ。あわせて、看護・医療情報の信頼性を見極める手法やインターネット情報の正誤判断、著作権に配慮した適切な引用方法について学習する。				川合	講義				
3回	Word演習(1)：文書構成		標準的な書式設定を学び、図表の挿入や見出し設定など、読みやすい文書を作成する。 ※1、2回目講義内容についての小テストあり。				川合	演習				
4回	Word演習(2)：校閲と共有		変更履歴やコメント機能を用いた校閲方法を学び、正確な文書を作成・管理する演習を行う。 ※時間内提出課題（Word演習課題）あり。				川合	演習				
5回	Excel演習(1)：基本操作		数式入力と基本関数、絶対参照、相対参照を学ぶ。				川合	演習				
6回	Excel演習(2)：統計とグラフ		基本統計量の算出方法を学び、目的に応じた適切なグラフを作成する。 ※時間内提出課題（Excel演習課題）あり。				川合	演習				
7回	PowerPoint演習(1)：スライド作成		スライドデザインの原則を学び、効果的なプレゼンテーション資料を作成する。				川合	演習				
8回	PowerPoint演習(2)：データの視覚化		Excelグラフを挿入・編集し、分析結果を効果的に伝える資料を作成する。 ※時間内提出課題（PowerPoint演習課題）あり。				川合	演習				
9回	HTML演習(1)：構造化データ		HTMLの基本タグを学び、構造化されたテキストデータを記述する。				川合	演習				

回	学習項目	学習内容	主担当 教 員	授業 方法
10回	HTML演習(2) : Webページ作成	リンク設定と画像挿入を学び、情報の公開・共有の仕組みを理解するためのWebページ作成演習を行う。 ※時間内提出課題 (Webページ作成課題) あり。	川合	演習
11回	医療情報システム (HIS) の基礎	電子カルテやオーダリングシステムの基本機能を学び、医療安全におけるICTの役割を理解する。	川合	講義
12回	情報の共有と地域連携	地域医療連携や遠隔医療、PHR(個人健康記録) 等、医療情報流通の仕組みを学ぶ。	川合	講義
13回	AIリテラシー(1) : 知識とスキル	生成AIの仕組みを学び、適切な回答を得るためのプロンプト作成演習を行う。 ※11、12回目講義内容について的小テストあり。	川合	講義
14回	AIリテラシー(2) : リスクと倫理	AI利用時の虚偽回答 (ハルシネーション) のリスクや著作権、医療倫理との整合性について学ぶ。	川合	講義
15回	まとめ	今までの学習内容を総括する。 ※13、14回目講義内容について的小テストあり。	川合	講義

学 習 課 題

1～2回課題 (事後) : 3回目冒頭の小テストに向けた講義内容の復習。ITの基礎用語や概念を整理して知識の定着を図ること。提出不要。

3～8・10回課題 (事後) : 各演習 (Word、Excel、PowerPoint、HTML) の振り返りと操作手順の再確認。提出不要。

9回課題 (事前) : HTML演習に向けたWebページのテーマおよび掲載するコンテンツ案の検討。提出不要。

11～12回課題 (事後) : 13回目冒頭の小テストに向けた11回、12回の講義内容の復習。
医療情報システムの基本機能や医療安全における役割を再確認すること。提出不要。

13～14回課題 (事後) : 15回目冒頭の小テストに向けた13回、14回の講義内容の復習。
生成AIの特性、法的・倫理的リスクに関する理解を深めておくこと。提出不要。

実務経験を活かした教育の取組

病院での医療機器管理DB構築や電子教科書作成の経験に加え、長年情報処理関連教育に従事してきた。これらから得た知見を活かし、臨床現場に即した実用的な情報リテラシー教育を実施する。